

はるつげどり
春告鳥 作：ソラ

シナリオ・データ

推奨プレイヤー人数：4人
PCレベル：5
リミット：1サイクル

セッション予告

春を憎む少女。
望みを叶える逢魔。

春は奪われ、現世は雪に覆われる。
常夜の桜が今、花開く。

サムライブレイドTRPG「春告鳥」

——ひさかたの
ひかりのどけき
春の日に
しづ心なく
“華”の散るらむ

PCの設定

・サンプルキャラクター

PCにはハンドアウトと設定がつく。セッション開始前にハンドアウトを公開し、どのようなPCにするかをプレイヤーと相談する。

※全PC共通 PCたちは、1年前にサキハヤ(今回のシナリオボス)を倒した仲間である。

PC1：黄龍門学園に通う高校生。

「摩天楼の若武者」

PC2：華札の巫女。中学生。

「華札の巫女」

PC3：かつて倒したはずの逢魔と再戦する。

「現世の十字軍」

PC4：陰陽寮に所属。

儀式を阻止するために動く。

「陰陽の行使者」

シナリオの注意点

(※PLは読まないように)

<1>プロlogueフェイズの前にチュートリアル戦闘を行う。(データ・演出等は後述)

<2>1サイクルシナリオである。

断片は剣戟を含めて5個である。

<3>あらかじめ、山札から「梅に鶯」「松に鶴」「桜に幕」の3枚と、「白札2枚」を抜き取っておき、断片が開示されたら対応する華札を任意のプレイヤーに渡す。

初期断片

「佐上六花」梅に鶯

「佐上翼」松に鶴(追加断片を公開)

「大規模な儀式」(剣戟を公開)

追加断片

「サキハヤ」桜に幕

剣戟(手番を使わなくても開示できる)

「常夜桜の結界」天に侍

<4>白札は手札上限には含めず、自由に受け渡しができる。また、他のあらゆる札の代わりに使うことができ、別に役につけることができる(例：赤タン+白札で4枚役など)。また、白札が2枚あれば、それを同時に使うこともできる(五光+白札2枚で七光)。

「天に侍」は剣戟を開示するとプレイヤーに渡される。「地に刀」は予備としてGMが持っておき、GMの任意のタイミングで適宜プレイヤーに渡すと良い。

演出的に、PCたちが扱う華札はオリジナルの華札の分霊であり、オリジナルの華札がなくなれば、その分霊もPCたちの元にはやってくることはない。

<5>このシナリオではプロlogueフェイズの「シーン5」で華札の取得ができる。華札の取得は全員がシーンプレイヤー扱いとして、好きなものを1枚取得できる。

背景

(※PLは読まないように)

1年前、PCたちは常夜桜に宿る逢魔・サキハヤを倒したはずだった。

力を取り戻すために不完全な復活を遂げたサキハヤは、自由に動く体を求めて佐上六花の弟・翼をさらい、乗っ取った。体を得たサキハヤは現世の「春の霊力」とオリジナルの華札を奪い、枯れてしまった常夜桜を咲かせる儀式をしようとする。

その影響で、いなくなった弟を憂いた六花は不登校になり、現世は3月末になっても桜は咲かず、雪が降っている。

翼がいなくなってから1年、六花の前に翼の体に乗っ取ったサキハヤが現れ、「弟を返してほしければ儀式の準備を整えろ」と「梅に鶯」のオリジナルの華札を渡す。

嫌な予感を感じつつも言う通りにするしかなかった六花は、事件解決に動き出したPCたちに華札を託そうとするが、サキハヤに依り代としてさらわれてしまう。(身体的・精神的に未熟な翼の体より、如月の力が強い六花のほうがサキハヤにとって有意だったからである)

儀式を阻止するために華札、そして六花と翼を取り戻し、サキハヤを倒すことができれば、シナリオ終了となる。現世に桜を咲かせることができれば、トゥルーエンドといえるだろう。

チュートリアル戦闘

シーン0

バトルシーン

解説

プロローグフェイズの前にチュートリアル戦闘を行う。これは、一年前のクライマックス戦闘である。

このシーンで消費したリソース(華札・アイテム・生命力)はシーン終了時に全て回復する。また、回数制限のあるアビリティのうち【斬札展開】【魂魄散華】以外のものはシーン終了後に使用回数が回復する。

このことを説明してから戦闘を行うこと。

▼描写

黒い桜吹雪が舞う中、黒い狐面をつけ、黒い装束をまとった逢魔・サキハヤとの闘いが今、終わろうとしていた。

戦闘について(データはルールブック参照)

上級逢魔

サキハヤ(過去)

下級逢魔

サイクルスタート時に2体召喚

サキハヤの持つ逢魔アビリティは以下の通りである。

上位

殺戮の嵐

下位

破滅の魔剣 刹那の瞬撃

絶望の切り札 地獄の業炎

勝利条件

- ・サキハヤを倒した
- ・ターゲットリミットが終了した

リミット

ターゲットリミット：1サイクル

ボーナスリミット：1サイクル

1サイクル以内に戦闘終了した場合、勝利ボーナスとして任意のアイテムを1人1個獲得する。

▼セリフ：倒されたサキハヤ

「くっ、一度はここで命を散らしましょう。ですが、ゆめゆめ忘れないことです、魂魄士たちよ。桜の恨みはいつまでも果てぬと…」

結末

回想から戻ってきて、時間は現代へと戻ってくる。

一度華札をすべて集めて切り直し、改めて5枚ずつ華札を配る。

敵の配置

	6	5	4	3	2	1	X
六							
五			サキ				
四							
三					サキ		
二							
一							
零							

※サキ…サキハヤ(過去)

サキハヤ (過去)	種別	難易度	移動攻撃	全力攻撃
	上級	+10	《霊/深淵7》 ダメージ5点	《霊/深淵7》 ダメージ6点
攻撃役	生命力	10	間合	出現ポイント
			0~2	五・4/三・2
特殊能力1：二回行動 出現ポイント2つにコマを配置。各手番で行動する。				
特殊能力2：二体攻撃 2体の対象に対して攻撃。防衛判定はそれぞれが行う。				

プロログフェイス

まだ結んでいなければPC間の絆を結んだ後、華札の配布（5枚ずつ）と初期アイテムの決定（渡していなければ）を行ったらプロログフェイスを開始する。

シーン1 一年前

マスターシーン

解説

サキハヤが佐上翼に接触する。これは逢魔アビリティ【逢魔の業】によるものである。

▼描写

はらはらと薄紅色の桜が舞う中、佐上翼は何かにさそわれるように桜の大木のところに來ていた。

そこには傷ついた黒い狐面が落ちていた。

佐上翼がおもむろにその狐面を手取る。すると、黒水晶のような桜吹雪がぐわりと佐上翼の体を包み込み、その姿は忽然と消えていた。

黒い桜の花が消えるとき、「やっと見つけましたよ」という声が聞こえた気がした。

結末

描写を読み終わったらシーンを終了する。

シーン2 桜の下には

シーンプレイヤー：PC1

解説

PC1が佐上六花を見かけるシーン。

▼描写

入学式まであと5日にせまった日。もう桜が咲いてもいい時期であるにもかかわらず、空は分厚い雪雲に覆われている。

校庭の片隅にある太い桜の木。つぼみもつけていないその木の下に、この1年ほど姿を見なかった佐上六花がいた。

君と同じ実行委員だったはずなのだが、今年は委員会にも来ないばかりか、授業にも顔を出していないようだった。

声をかけると、佐上六花は力のない笑顔を向けたあと、去って行ってしまった。

結末

突如、懐のスマホにSAMURA | 本部から連絡が入る。坂本江里香から「緊急の招集で申し訳ありません。すぐに陰陽寮に來てください」という連絡が入る。

陰陽寮へ向かったところでシーンを終了する。

シーン3 華札強奪

シーンプレイヤー：PC2

解説

安倍晴明が作ったオリジナル華札が奪われる。

▼描写

あなたの元に緊急の連絡が入る。それは、魂魄士たちの周りを舞う華札の大元、安倍晴明が作ったオリジナルの華札の安置所に逢魔が入り込んだという知らせだった。

あなたが現場につくと、あなたの友人である佐上翼が黒い狐面をつけ、3枚の華札を手にしていた。

「ふむ、やはり、この体ではこの程度の力しか使えませんか。仕方ありませんね」

佐上翼の声ではあるのだが、彼の口調ではないし、なにより佐上翼から感じる気配は1年前に倒したはずのサキハヤのものであった。

「お久しぶりですね、華札の巫女。ですが、今日の用事はもう済みましたので、ワタシはこれにて」

そう言った直後、黒い桜吹雪が安置所に吹き荒れる。次の瞬間にはもう佐上翼の姿はなかった。

結末

「陰陽寮の平井清子とSAMURA | の坂本江里香が呼んでいる」と連絡が入る。PC2が陰陽寮に向かったらシーンを終了する。

シーン4 宣戦布告

シーンプレイヤー：PC3

解説

華札強奪したあとのサキハヤとPC3が遭遇する。

▼描写

見覚えのある黒い狐面がそこにいた。だが、その姿は中学生くらいの少年で、手には3枚の華札が握られていた。

▼セリフ：黒い狐面の少年（サキハヤ）

「1年ぶりですね、PC3」

「この姿でいれば、あなたたちは手出しをできないでしょう？」

「ワタシはワタシの力を取り戻す。そのためには少々準備が必要でしてね。止められるものなら止めてみなさい？」

結末

「待っていますよ、常夜桜が舞うところに」という言葉のあと、黒い桜吹雪で目くらましをされてしまう。その後、懐のスマホにSAMURA1本部から連絡が入る。坂本江里香から「緊急の招集で申し訳ありません。すぐに陰陽寮に来てください」という連絡が入る。

陰陽寮へ向かったところでシーンを終了する。

シーン5 儀式と逢魔

シーンプレイヤー：PC4

解説

全員集合。平井清子と坂本江里香から状況説明を受ける。このシーンの終了時に、全員がシーンプレイヤー扱いで華札の取得ができる。

▼描写

陰陽寮にいる平井清子に呼び出されていた。だが、呼ばれたのはあなただけではないらしい。平井清子と、SAMURA1本部副指令である坂本江里香が「よく来てくれました」と迎えてくれる。

▼セリフ：平井清子・坂本江里香

平井「実は、呼んだのはあなただけではない。もうすぐ来るだろう」
(PCたちが入ってくると、平井清子が話し始める)

平井「見覚えのある顔ぶれだろう？」

坂本「今回の事件、あなたたちが1年前に倒した逢魔・サキハヤが関係しているようです。そこで、緊急事態として、あの逢魔と因縁のあるあなたたちを呼んだのです」

平井「さて、本題に入ろう。もう桜が咲いてもいいこの時期に降る雪。これは逢魔が現世の「春の霊力」を奪い、何かしらの儀式を行おうとしている兆候らしい。この儀式が成功してしまえば、現世は雪に閉ざされてしまうだろう。あなたたちには、この儀式を止めてもらいたい」

坂本「そして、PC2はもうご存知でしょうが、オリジナルの華札が奪われました。これを取り返すことも任務に加えます。奪われたのは、「松に鶴」「梅に鶯」^{ういす}「桜に幕」の3枚です」

坂本「あなたたちの任務は、「儀式を止めること」と「華札を取り返すこと」です。よろしく頼みます」

結末

ロールプレイが終わったらシーンを終了する。

メインフェイス

メインフェイスでは「サキハヤによる儀式の妨害」そして「華札の奪還」が行われる。

各断片の開示後に決められた描写があり、それに合わせて華札の入手が出来る。

このシナリオは断片の数はそこまで多くないが、追加サイクルが発生する条件について改めて説明すると良い。

GMは入手判定・感情判定などは追加サイクルを利用するように促すこと。

リミット

メインフェイスのリミットは1サイクルである。リミット以内に【剣戟】を開示できなかった場合、常夜桜の花が咲き、サキハヤを止めることは出来なくなるだろう。【剣戟】が開示されていれば儀式が完了する前にサキハヤと戦うことができる。

イベント

各断片の開示後にそれぞれのシーンの演出が行われる。

シーン6 奪われたもの

解説

初期断片「佐上翼」が開かれたらこのシーンが挿入される。華札「松に鶴」を渡す。

▼描写

翼はサキハヤの依り代として使われている。今の状況では翼は人質といったところか。

だが、サキハヤもまた翼の体では本来の力を使えないようだ。

結末

ロールプレイが終わったらシーンを終了する。

追加断片「サキハヤ」が公開される。

シーン7 ^{さがみりっか} 佐上六花

解説

初期断片「佐上六花」が開かれたらこのシーンが挿入される。華札「梅に鶯」を渡す。

▼描写

枯れた桜の下でたずんでいる六花に声をかけると、彼女はゆっくりと振り返った。「梅に鶯」の華札を大事そうに握りしめている。

▼セリフ：佐上六花

「春は嫌いよ。春が来たせいで、弟はいなくなった。春なんて来なければいい」

「だって……この儀式を成功させたら、弟が——翼が帰ってくるの。だから、やらなきゃ」

「でも、あいつに協力して本当にいいの？言われるままに陣とか道具とか用意したけど、なんだか、嫌な感じがする」

「なんか、私には如月^{きさらぎ}の霊力？があるらしいよ。よくわからないけど」

「……お願い、弟を助けて」

（六花は「梅に鶯」をPCに渡してくれようとするが、そこに黒い桜吹雪が起こる。）

▼セリフ：サキハヤ

「一緒に来てよ、お姉ちゃん？」

（というサキハヤの言葉が聞こえたあと、六花は桜吹雪にさらわれる。）

▼セリフ：佐上六花

「PC1くん（ちゃん）！ これを！」

（六花は「梅に鶯」をPC1に投げる。）

「春を、頼んだよ」

結末

ロールプレイが終わったらシーンを終了する。

シーン8 常夜に咲く花

解説

初期断片「大規模な儀式」が開かれたらこのシーンが挿入される。

▼描写

「常夜桜」を咲かせる儀式。その根元には数々の逢魔が眠っているとされ、黒水晶のような花が咲く。

1年前にPCたちとの闘いで枯れてしまった。

サキハヤはこれを咲かせるために奔走している。それは何故か？

結末

ロールプレイが終わったらシーンを終了する。

剣戟「常夜桜の結界」が公開される。

シーン9 最終段階

解説

追加断片「サキハヤ」が開かれたらこのシーンが挿入される。華札「桜に幕」を渡す。

▼描写

儀式の準備をしていたサキハヤを一旦退け、持っていた「桜に幕」の華札を回収する。

▼セリフ：サキハヤ

「……さすがですね。魂魄士」

「ですが、これで準備は整いました」

「またお会いしましょう。私の結界を破壊出来たら、ですかね」

結末

ロールプレイが終わったらシーンを終了する。

カルマフェイス

カルマフェイスでは【斬札展開】を行ったPCがシーンプレイヤーとなり【土命】を追加できる。GMは全PCが【斬札展開】できるように案内すること。

「カルマフェイスシーン表」を用いてシーンの雰囲気を出して「PCが何のために戦うのか」を確認する。

クライマックスフェイス

シーン10 決戦

バトルシーン

解説

サキハヤとの決着をつけるシーン。

▼描写

常夜桜の(黒い桜吹雪の)結界の中を進むと、儀式の場はすでに整っていた。太い桜の枝にとらわれているのは、六花だった。

翼の姿をしたサキハヤがPCたちを出迎える。

▼セリフ：サキハヤ

「やはり来ましたね、魂魂士たちよ。さあ、1年越しの復讐と参りましょうか」

戦闘について(データはルールブック参照)

上級逢魔

サキハヤ

中級逢魔

亡霊武者 人面樹

下級逢魔

サイクルスタート時に2体召喚

サキハヤの持つ逢魔アビリティは以下の通りである。

上位

真魔覚醒 殺戮の嵐

下位

逢魔の業※ 破滅の魔剣 刹那の瞬撃

絶望の切り札 地獄の業炎

※【逢魔の業】はプロローグで翼の身体を乗っ取るために使用している。

サキハヤの手番が来たら【殺戮の嵐】を使用して、攻撃が命中したら【破滅の魔剣】を使用する。そして即座に【刹那の瞬撃】を宣言し、まだ覚醒していないPCを優先的に狙う。【絶望の切り札】は防衛判定に成功したPCがいたら使用し、生命力1点のPCがいたら【地獄の業炎】を使う。

勝利条件

バトルシーンの勝利条件は「サキハヤを倒す」である。なお、このバトルシーンにはリミットは存在しない。

結末

勝利条件が満たされた段階で戦闘終了となり、バトルシーンは終了する。残った逢魔は撤退する。

エピローグフェイス

シーン11 大きな桜の木の下で

解説

共通エンディング。プレイヤーズコールが発生した場合はここで演出を行う。

時間があれば個別エンディングも行う。

プレイヤーズコールの例としては「桜を咲かせる」などどうだろうか。

▼描写

黄龍門学園の入学式当日。実行委員であったPC1と佐上六花。その目の前を新入生たちが歩いていく。

その頭上にある桜の木は…?

功績点について

本シナリオにおいてのボーナスは特に指定していない。

敵の配置							
	6	5	4	3	2	1	X
六							
五			サキ			人面	
四							
三					サキ		
二							
一					亡霊		
零							

※サキ…サキハヤ 人面…人面樹 亡霊…亡霊武者

サキハヤ	種別	難易度	移動攻撃	全力攻撃
	上級	+10	《霊/深淵7》 ダメージ5点	《霊/深淵7》 ダメージ6点
攻撃役	生命力	30	間合	出現ポイント
			0~2	五・4/三・2
特殊能力1：二回行動 出現ポイント2つにコマを配置。各手番で行動する。				
特殊能力2：二体攻撃 2体の対象に対して攻撃。防衛判定はそれぞれが行う。				

サキハヤ (覚醒後)	種別	難易度	移動攻撃	全力攻撃
	特級	+15	《霊/深淵7》 ダメージ5点	《霊/深淵7》 ダメージ6点
攻撃役	生命力	60	間合	出現ポイント
			0~2	六・6を追加
特殊能力1：三回行動 出現ポイント3つにコマを配置。各手番で行動する。				
特殊能力2：二体攻撃 2体の対象に対して攻撃。防衛判定はそれぞれが行う。				

ハンドアウト



士命

ハンドアウトPC 1

佐上六花の真意を知る

推奨魂魄・職業

応龍・学生

推奨サンプルキャラクター

摩天楼の若武者

あなたは真龍門学園に通う学生であり、入学式実行委員でもある。

入学式を5日後に控えた日、校庭の樹の下で立ちすくんでいる少女を見かけた。それは、あなたと同じく入学式実行委員の一員である佐上六花だった。

六花は去年、精力的に実行委員の活動をしていたのだが、今年は1度も学校にも来ていなかった。一体彼女に何があったのだろうか？

縁 : 佐上六花

感情 : 憧憬

特記事項 : 高校2年生以上であること

ハンドアウト



士命

ハンドアウトPC 2

佐上翼を追う

推奨魂魄・職業

麒麟・学生

推奨サンプルキャラクター

華札の巫女

あなたは、12人の華札の巫女のひとりである。

SAMURAI本部に保管してあったオリジナルの華札が奪われる場面に遭遇する。

そこには、小学校からの友人である佐上翼がいた。しかし、彼の気配は粉れもなく遠慮であり、3枚の華札を奪い去り、姿をくらましてしまったのだ。

縁 : 佐上翼

感情 : 友情

特記事項 : 中学生であること

ハンドアウト



士命

ハンドアウトPC 3

サキハヤの目論見を止める

推奨魂魄・職業

霊亀・任意

推奨サンプルキャラクター

現世の十字軍

都内全域に降り続く、季節外れの大雪。これは、1年前にあなたたち4人が倒したはずの遠魔・サキハヤの仕業らしい。

しかし、サキハヤの目論見は「現世を雪で覆うこと」ではないようだ。その目論見とは一体何なのか。今度こそはサキハヤを完全に倒し、目論見を阻止しなければ。

縁 : サキハヤ

感情 : 怒り

特記事項 : 特になし

ハンドアウト



士命

ハンドアウト PC 4

儀式を止める

推奨魂・職業 推奨サンフルキャラクター
鳳凰・任意 陰陽の行使者

あなたは平井清子呼び出されていた。
清子によると、逢魔が現世の「昏」を奪い、大規模な儀式を行おうとしているのだという。その儀式が成功してしまえば現世は昏に閉ざされ、強大な力が復活してしまう。
現世を守るためにも、この儀式を止めなければ。

縁 : 平井清子

感情 : 共感

特記事項 : 特になし

断片



初期断片

さかりっか
佐上六花

PC1と同じ入学式実行委員の少女、最近学校にまけないが……。

指定特技	<	悲	/	理知 12	>
難易度	下級 <input checked="" type="checkbox"/>	中級 <input type="checkbox"/>	上級 <input type="checkbox"/>	特級 <input type="checkbox"/>	特殊 <input type="checkbox"/>
推奨	PC① <input checked="" type="checkbox"/>	PC② <input type="checkbox"/>	PC③ <input type="checkbox"/>	PC④ <input type="checkbox"/>	なし <input type="checkbox"/>

初期断片 開示

さかりっか
佐上六花

追加断片 ↓
なし

彼女の弟である佐上翼は、1年前の入学式の日、行方不明になっている。そして彼女自身も、その日から学校に来なくなっていた。彼女にとって入学式は忌まわしい日となっている。

今年の入学式が迫ったある日、黒い狐面をつけた少年に「弟を返しなさい、常夜桜を咲かせろ」と言われた。六花は桜の下で常世の桜を咲かせる儀式の準備をしていた。

この断片を開示すると「シーン6」が挿入される。
また、シーンプレイヤーは「梅に籠」を入手できる。

断片



初期断片

さかりっか
佐上翼

PC2の友人の少年、1年前と同じ格好のまま、黒い狐面を付けている姿を目撃されている。

指定特技	<	憑依	/	感性 3	>
難易度	下級 <input type="checkbox"/>	中級 <input checked="" type="checkbox"/>	上級 <input type="checkbox"/>	特級 <input type="checkbox"/>	特殊 <input type="checkbox"/>
推奨	PC① <input type="checkbox"/>	PC② <input checked="" type="checkbox"/>	PC③ <input type="checkbox"/>	PC④ <input type="checkbox"/>	なし <input type="checkbox"/>

初期断片 開示

さかりっか
佐上翼

追加断片 ↓
サキヤ

1年前、PC2と同じ中学校に入学する予定だったが、その入学式の日、サキヤは行方不明になった。今の翼に自我はなく、助けるためにはサキヤを倒すしかない。

この断片を開示すると「シーン7」が挿入される。
また、シーンプレイヤーは「松に籠」を入手できる。

タムライ

断片



大規模な儀式

東京全体に降りそそぐ雪は、ある儀式の余波である。この儀式とは、一体？

初期断片

指定特技	< 妖 / 理知 3 >				
難易度	下級 <input checked="" type="checkbox"/>	中級 <input type="checkbox"/>	上級 <input type="checkbox"/>	特級 <input type="checkbox"/>	特殊 <input type="checkbox"/>
推奨	PC① <input type="checkbox"/>	PC② <input type="checkbox"/>	PC③ <input type="checkbox"/>	PC④ <input checked="" type="checkbox"/>	なし <input type="checkbox"/>

大規模な儀式

現世の「春の霊力」を集め、逢魔の世界にある桜の大木で「常夜桜」の花を咲かせる儀式。必要なのは、「春の霊力」が封じられた華札と依り代である。

初期断片 開示

剣戟 ↓
「常夜桜の結果」

この断片を開示すると「シーン8」が挿入される。

タンペン

断片



サキハヤ

黒い狐面、黒い素束、白い布をまとった逢魔、黒水晶のような桜吹雪を操る。

追加断片

指定特技	< 常夜 / 感性 2 >				
難易度	下級 <input type="checkbox"/>	中級 <input type="checkbox"/>	上級 <input checked="" type="checkbox"/>	特級 <input type="checkbox"/>	特殊 <input type="checkbox"/>
推奨	PC① <input type="checkbox"/>	PC② <input type="checkbox"/>	PC③ <input checked="" type="checkbox"/>	PC④ <input type="checkbox"/>	なし <input type="checkbox"/>

サキハヤ

漢字で書くと「映光映」。

「常夜桜」が本体の逢魔、かつては強大な力を持っていたが、PCたちにより削られて力を持った、1年の時をかけた大規模な儀式によって、本来の力を取り戻さとしている。

追加断片 開示

この断片を開示すると「シーン9」が挿入される。
また、「シーンプレイヤー」は「桜に舞」を入手できる。

タムライ

断片



常夜桜の結果

この剣戟はPC全員による「サムライの魂」に「剣戟」という言葉にて開示される。開示するために手番は消費しない。
常夜桜の黒い桜吹雪の結果の中を進むこの結果の中だけ逢魔の世界とつながっている。そこには桜の大木が黒い花を咲かせていた。

剣戟

指定特技	< 判定無し >				
難易度	下級 <input type="checkbox"/>	中級 <input type="checkbox"/>	上級 <input type="checkbox"/>	特級 <input type="checkbox"/>	特殊 <input checked="" type="checkbox"/>
推奨	PC① <input type="checkbox"/>	PC② <input type="checkbox"/>	PC③ <input type="checkbox"/>	PC④ <input type="checkbox"/>	なし <input checked="" type="checkbox"/>

常夜桜の結果

黒い桜吹雪が舞い散る中を魂闘士たちは進む。現世に春を告げることはできるのか？
この断片が開示されると、白札「天は侍」を入手できる。

剣戟 開示

- ※本シナリオでの白札の扱いについて
- ・白札は手札上限には含めず、自由に受け渡しができる。
- ・他のあらゆる札の代わりに使うことができる。
- ・他の役につけることができる。
- ・(赤タン+白札で4枚役役など)
- ・白札が2枚あれば、それを同時に使うこともできる。
- ・(五光+白札2枚で七光など)